



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

#### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

#### ▲警告

- キャビネットが落下してケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の栈木を設置してください。
  - ・栈木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
  - ・栈木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。（厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。）
  - ・必ず指定の躯体取付けねじφ4.5×63を指定の本数使用してください。
  - ・必ず栈木又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。
  - ・組立ての際は、必ず接合部・背板溝に付属の接着剤を充てんし組立て、その後背板止め金具・補強金具を必ず固定してください。接合部が外れて、キャビネットの落下・地板のたわみの原因となります。又、組立て後は接着剤が硬化するまで（半日以上）養生してください。
  - ・取付けの際は、必ず背板芯材に付属の接着剤を塗布してください。キャビネットの落下・地板のたわみの原因となります。


















#### ▲注意

- 扉の取付けの際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。
- 施工時は必ず2人作業で設置をしてください。落下によりケガをするおそれがあります。
- ミラー扉の取扱いには十分注意してください。ミラーが破損し、ケガをするおそれがあります。

#### ■取付け上のおお願い

- 壁面(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、扉の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱灯付近には取付けしないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。
- 隣合う扉の扉端部が干渉すると開閉に支障が生じますので、左右調整を必ず行ってください。
- ミラー扉は1つのキャビネットに1枚の取付けとしてください。
- 入隅に設置する場合は、壁と扉が干渉しないことを確認してください。干渉する場合は、左右調整を必ず行ってください。
- キャビネットのダボ組は、必ず当て木をしてからハンマーでたたいてください。当て木をせずにハンマーでたたくと部材が割れてしまうおそれがあります。
- 定尺材カウンターを使用される場合は、必ず左右連結後のキャビネットを採寸して、両端を切断してください。



■部材・部品一覧表



部材	部材・部品名	数量										
		ウォール		ベース		H17トール		H22トール (中仕切無)		H22トール (中仕切有)		
		400	740 800	400	740 800	400	740 800	400	740 800	800		
部材	側板	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	天板・地板	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	背板	1	1	1	1	2	2	2	2	2		
	背板芯材	2	2	2	2	3	3	4	4	4		
	背板裏板	-	-	-	-	1	2	1	2	2		
	中仕切り	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	固定棚板	-	-	-	-	1	1	1	1	1		
	樹脂棚板	1	1	4	4	-	-	-	-	3		
	キャビネット 梱包	躯体取付けねじ (皿木ねじφ4.5×63)		4	4	4	4	4	4	4	4	
		ワッシャー		4	4	4	4	4	4	4	4	
連結ねじ(φ4×28) ※キャビネット、カウンター、台輪連結に使用			8	8	12	12	12	12	12	12		
ねじキャップ ※躯体取付けねじ、連結ねじに使用			12	12	16	16	16	16	16	16		
背板固定ねじ (丸木ねじφ3.5×20)			-	-	-	-	3	6	3	6	9	
補強金具			4	4	4	4	4	4	4	4		
補強金具固定ねじ (トラスタップピンねじφ4×14)			8	8	8	8	8	8	8	8		
補強金具カバー			4	4	4	4	4	4	4	4		
丁番座			2	4	2	4	3	6	4	8	8	
丁番カップ		キャッチあり		2	4	2	4	3	6	4	6	6
		キャッチなし		-	-	-	-	-	-	2	2	
丁番カップ取付けねじ (皿タップピンねじφ4×16)			4	8	4	8	6	12	8	16	16	
接着剤			2	2	2	2	2	2	2	2	2	
丁番穴用穴隠しキャップ			-	-	-	-	6	-	8	-	-	
中仕切り用穴隠しキャップ			-	-	-	-	-	-	-	-	5	
クリアパンボン ※把手無扉(ベーストール) には使用しない			2	4	2	4	2	4	2	4	4	
棚ダボセット (4本入り)		1	1	-	-	-	-	-	-	-		
棚ダボセット (16本入り)		-	-	1	1	-	-	-	-	1		

扉梱包	部材	部材・部品名	数量								
			ウォール		ベース		H17トール		H22トール		
			400 把手有	400 把手無	740 800	400	740 800	400	370	400	370
部材	扉(左右兼用)	1枚入り /梱包	1	-	-	1	-	1	1	1	1
			-	1	-	-	-	-	-	-	-
	扉(右吊元)	2枚入り /梱包	-	-	1	-	1	-	-	-	-
			-	-	1	-	1	-	-	-	-

カウンター梱包	部材	部材・部品名	数量							
			740	800	1140	1200	1480	1540	1600	2400
部材	カウンター(740用)	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	カウンター(800用)	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	カウンター(1140用)	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	カウンター(1200用)	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	カウンター(1480用)	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	カウンター(1540用)	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	カウンター(1600用)	-	-	-	-	-	-	1	-	-
定尺材カウンター(2400)	-	-	-	-	-	-	-	1	2	

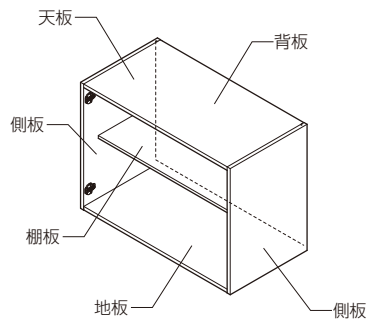
台輪梱包	部材	部材・部品名	数量						
			740	800	1140	1200	1480	1540	1600
部材	台輪完成品(740用)	1	-	-	-	-	-	-	
	台輪完成品(800用)	-	1	-	-	-	-	-	
	台輪完成品(1140用)	-	-	1	-	-	-	-	
	台輪完成品(1200用)	-	-	-	1	-	-	-	
	台輪完成品(1480用)	-	-	-	-	1	-	-	
	台輪完成品(1540用)	-	-	-	-	-	1	-	
	台輪完成品(1600用)	-	-	-	-	-	-	1	

把手セット	部材	部材・部品名	数量	
			部材	数量
部材	把手			1
	把手取付けねじ (トラス小ねじM4×25)			2

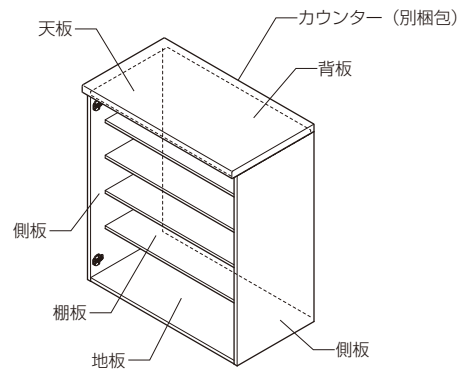
L字 アングル セット	部材	部材・部品名	数量	
			部材	数量
			L字アングル	
部材	L字アングル取付けねじ(キャビネット側) (皿木ねじφ3.1×16)			2
	L字アングル取付けねじ(躯体側) (皿木ねじφ3.8×45)			2

※照明付台輪については、照明付台輪に同梱の取付け説明書をご確認ください。

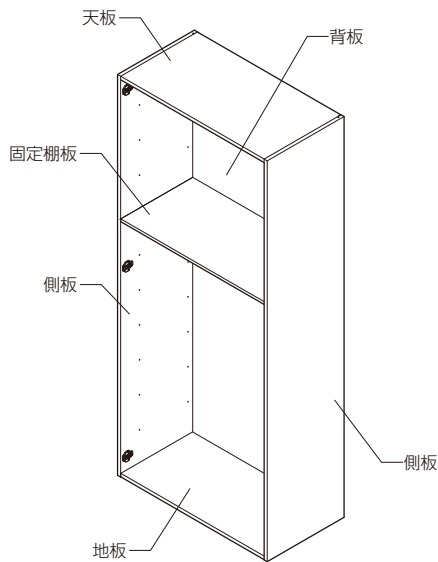
〈ウォールキャビネット〉



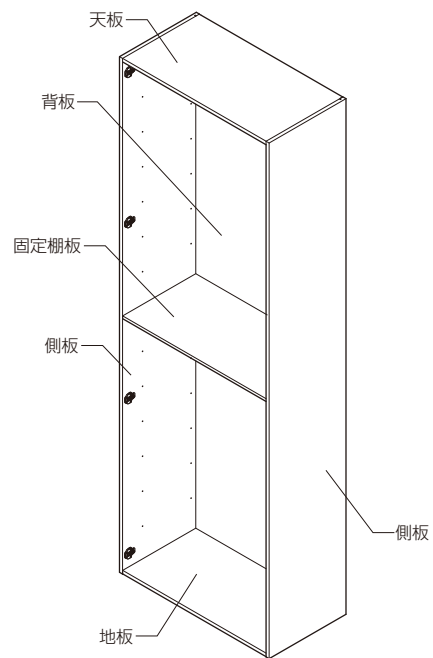
〈ベースキャビネット〉



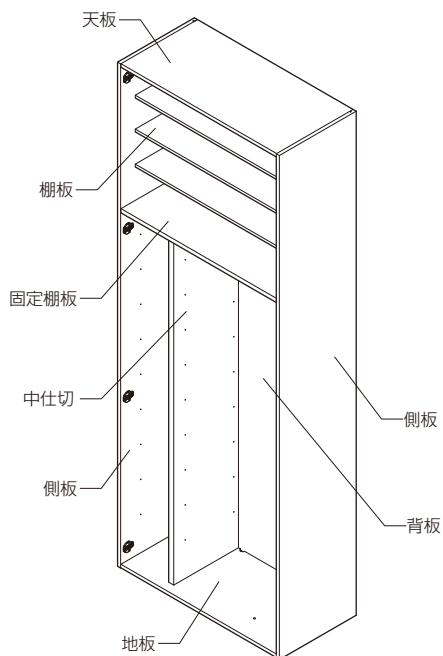
〈H17ツールキャビネット〉



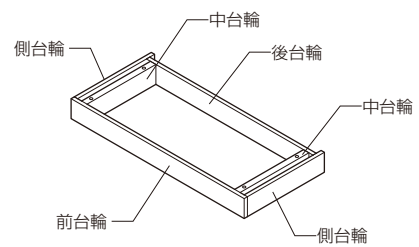
〈H22ツールキャビネット(中仕切無)〉



〈H22ツールキャビネット(中仕切有)〉



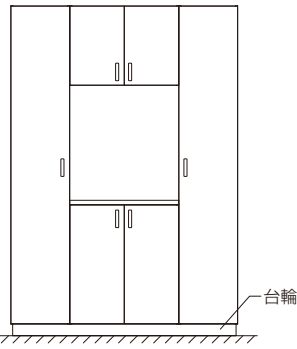
〈台輪〉



■据付け前の準備

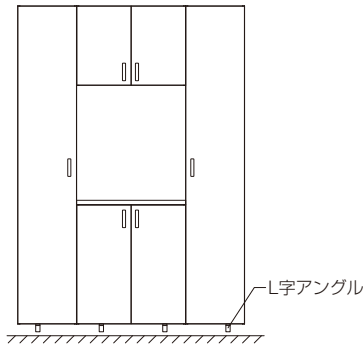
■キャビネットの施工方法

〈台輪納まり〉

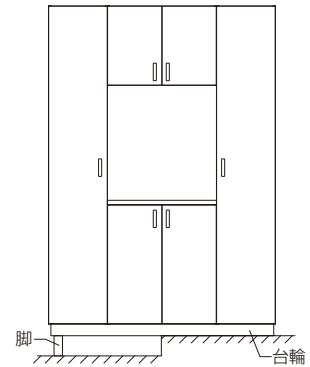


※照明付台輪はフロート納まりとなります。

〈フロート納まり〉



〈台輪納まり〉



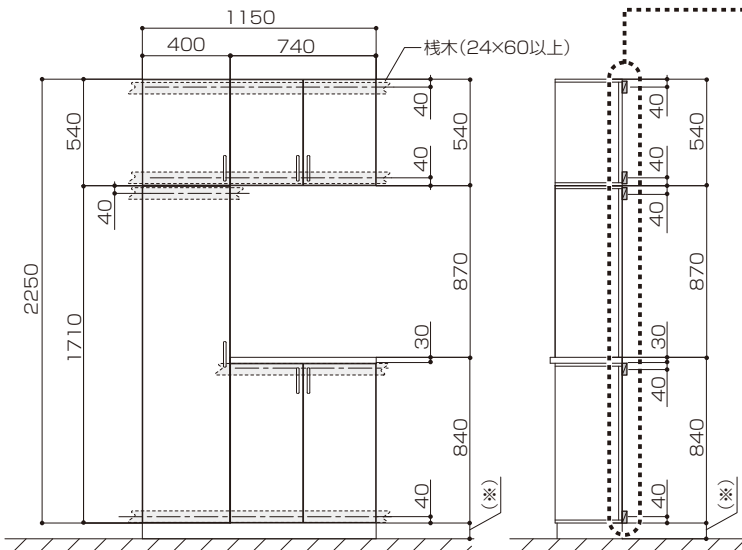
■棧木の設置位置

- 据付け場所と上がり框の位置および収納セットの左右勝手を確認し、棧木を設置します。
- ※推奨棧木：24×60mm以上

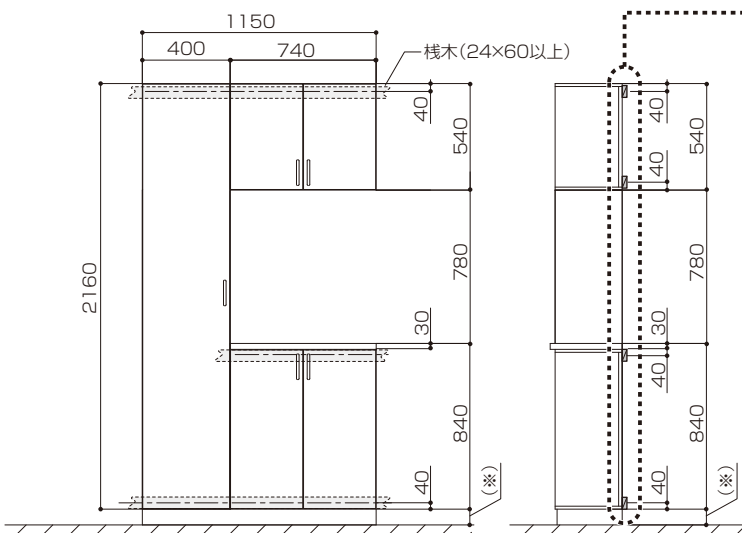
**警告**

- 指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
- 棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
- 棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
- ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。  
(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)

〈H17を使用する場合〉

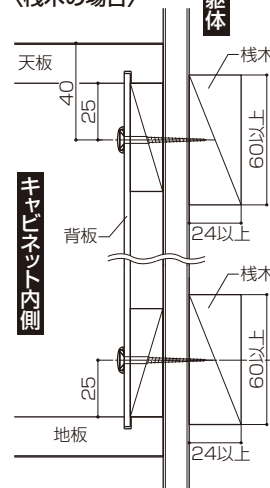


〈H22を使用する場合〉

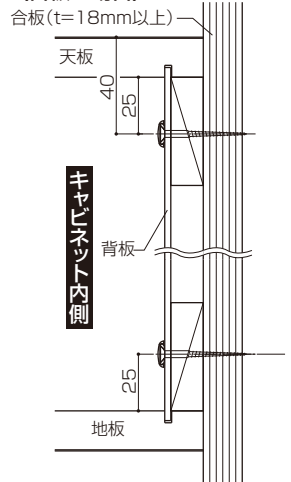


■詳細図

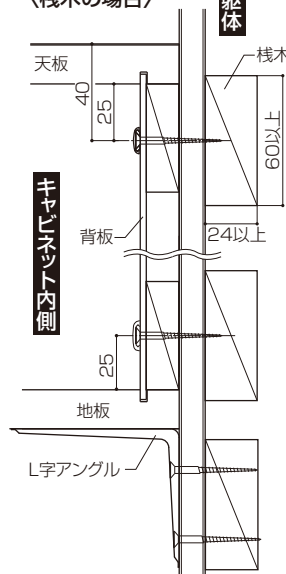
●台輪納まり  
〈棧木の場合〉



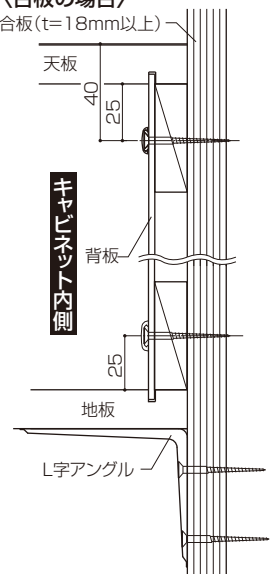
〈合板の場合〉



●フロート納まり  
〈棧木の場合〉



〈合板の場合〉



- L字アングルはベース/ツールキャビネットに使用してください。
- (※)寸法は、台輪納まりの場合は80mmとなります。  
フロート納まりの場合は、据付け後のカウンター高さに配慮して決めてください。

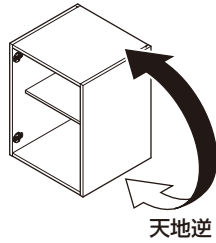
## ■キャビネットの組立て順序

### 1 W400時の吊元確認

#### 1 W400時の吊元確認

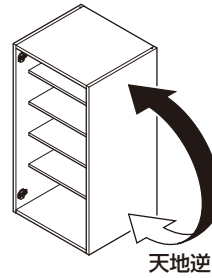
##### 〈ウォールキャビネット〉

- 吊元は組立て後にキャビネットを天地逆にするにより選択できます。
- ※片方の側板にしか丁番座取付け穴はあいていません。



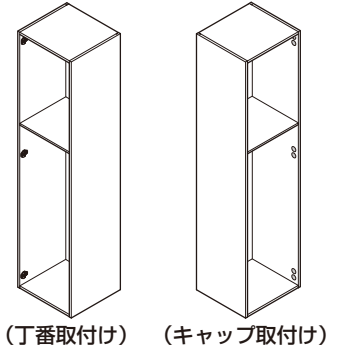
##### 〈ベースキャビネット〉

- 吊元は組立て後にキャビネットを天地逆にするにより選択できます。
- ※片方の側板にしか丁番座取付け穴はあいていません。



##### 〈トールキャビネット〉

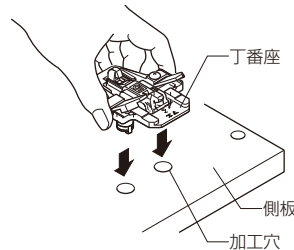
- 吊元は丁番座の取付け位置により選択できます。
- 未使用の丁番座取付け穴は穴隠しキャップを取付けてください。



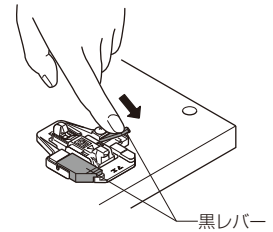
### 2 丁番座の取付け

#### 2 丁番座の取付け

- ① 丁番座を側板の加工穴に差込みます。



- ② 黒レバーをおろして丁番座を固定します。



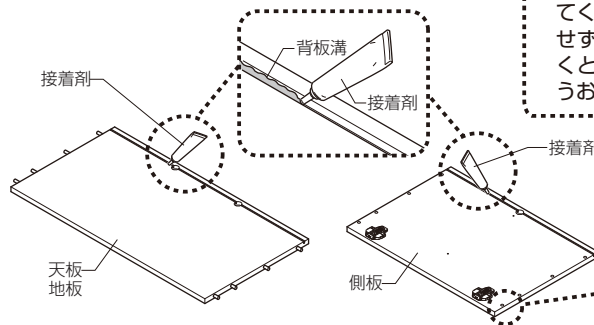
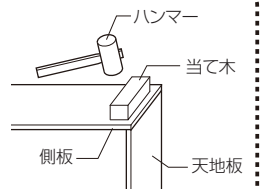
### 3 キャビネットの組立て

#### 3 キャビネットの組立て

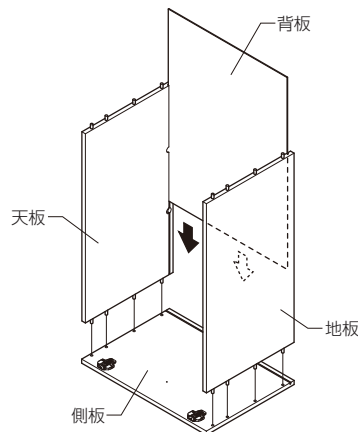
##### 〈ウォール・ベースキャビネット〉 ※図はウォールキャビネットを示します。

- ① 側板・天板・地板の背板溝に同梱の接着剤を充てんします。
- ② 側板のダボ穴に同梱の接着剤を充てんします。

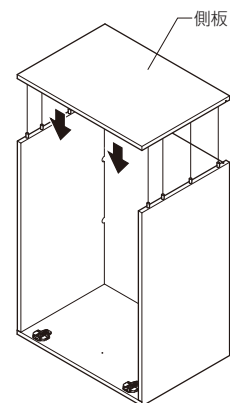
お願い  
※キャビネットのダボ組は、必ず当て木してからハンマーでたたってください。当て木をせずにハンマーでたたくと部材が割れてしまうおそれがあります。



- ③ 片方の側板に天板・地板をはめ込み、背板溝に背板をはめ込みます。



- ④ もう一方の側板をはめ込みます。



#### 警告

- 必ず接合部・背板溝に接着剤を充てんしてください。接着剤で接着されていないと接合部が外れて、キャビネットの落下・地板のたわみの原因となります。又、組立て後は接着剤が硬化するまで(半日以上)養生してください。

お願い  
※背板が背板溝に入っていることを確認してください。

〈トールキャビネット〉 ※図はH22トールキャビネットを示します。

- ①側板・天板・地板の背板溝に同梱の接着剤を充てんします。
- ②側板のダボ穴に同梱の接着剤を充てんします。
- ※中仕切有の場合は、中仕切の取付け位置を決めてから、固定棚と地板のダボ穴にも接着剤を充てんしてください。

お願い

※キャビネットのダボ組は、必ず当て木をしてからハンマーでたたいてください。当て木をせずにハンマーでたたくと部材が割れてしまうおそれがあります。

■中仕切取付け位置確認(中仕切有の場合)

※中仕切の取付け位置を決めてください。

●地板(中仕切有の場合)

※中仕切有の場合は中仕切の取付け位置に接着剤を塗布

●中仕切有の場合

※中仕切有の場合は中仕切の取付け位置に接着剤を塗布

- ③片方の側板に天板・地板・固定棚板をはめ込みます。 ※中仕切有の場合は中仕切もはめ込んでください。
- ④背板溝に背板(上下)をはめ込みます。
- ⑤背板はめ込み後、背板裏板を背板(上)と背板(下)のつなぎ目に貼付けます。(両面テープのリケイ紙をはがしてください。)

- ⑦もう一方の側板をはめ込みます。
- ⑧背板裏板・固定棚板に下穴(φ2.5×深さ20mm)をあけます。
- ⑨背板と固定棚を背板固定ねじ(丸木ねじφ3.5×20)で固定します。

キャビネット内側

■W400(3カ所)

■W740/W800(6カ所)

- ⑩中仕切有の場合は、中仕切を背板固定ねじ(丸木ねじφ3.5×20)で固定します。
- ⑪中仕切有の場合は、穴隠しキャップを地板と固定棚に取付けてください。



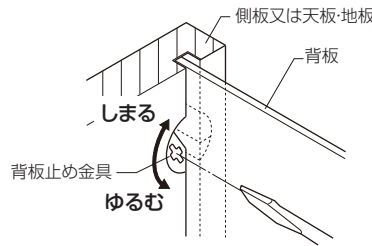
#### 4 背板止め金具の固定

##### 警告

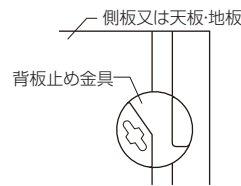
●背板止め金具を必ず固定してください。キャビネットの落下・地板のたわみの原因となります。

#### 4 背板止め金具の固定

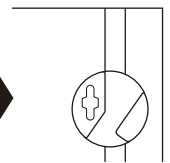
①キャビネットの対角・垂直を確認した後、背板止め金具を締付けます。  
※マイナスドライバーで、右回りに締付けます。



##### 【組立て前】



##### 【組立て後】



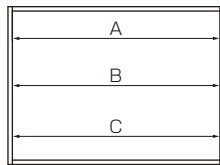
※この状態で背板を組み込んでください。

#### 5 組立て後の確認

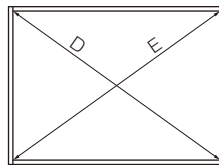
#### 5 組立て後の確認

●キャビネットの水平・対角・垂直方向の内寸寸法が、それぞれ等しいことを確認してください。  
※寸法の確認は接着剤硬化前に行い、寸法が異なる場合は「4 背板止め金具の固定」をやり直して調整してください。

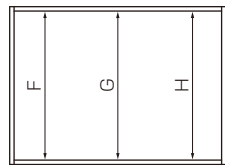
##### 【水平方向】A=B=C



##### 【対角方向】D=E

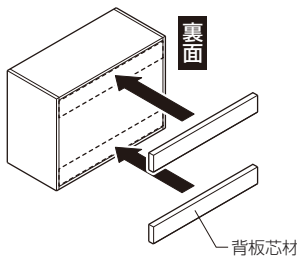


##### 【垂直方向】F=G=H



#### ■キャビネットの取付け順序

#### 1 背板芯材の取付け



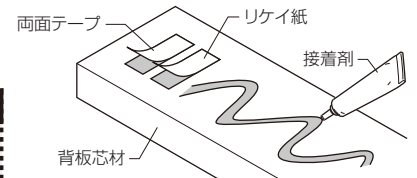
お願い  
※必ずキャビネット上下部(天板下・地板上)に張付けてください。

#### 1 背板芯材の取付け

①背板芯材に接着剤を塗布し、両面テープのリケイ紙をはがします。  
キャビネット上下部(天板下・地板上)に背板芯材を張付けます。

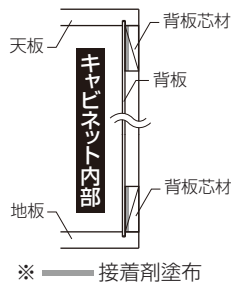
##### 警告

●必ず背板芯材に接着剤を塗布してください。

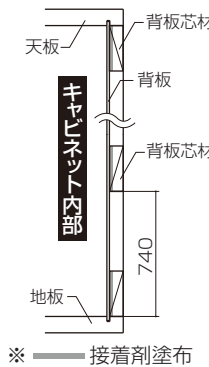


#### ●背板芯材の取付け位置

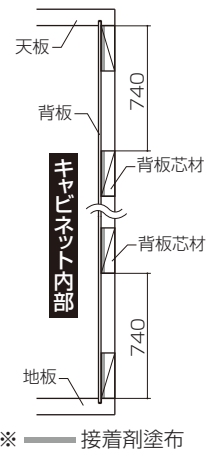
##### 〈ウォール・ベースキャビネット〉



##### 〈H17ツールキャビネット〉



##### 〈H22ツールキャビネット〉



#### 2 補強金具の取付け

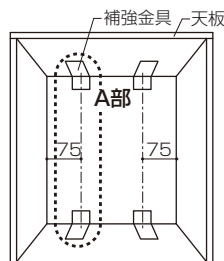
##### 警告

●補強金具は必ず取付けてください。キャビネットの落下・地板のたわみの原因となります。

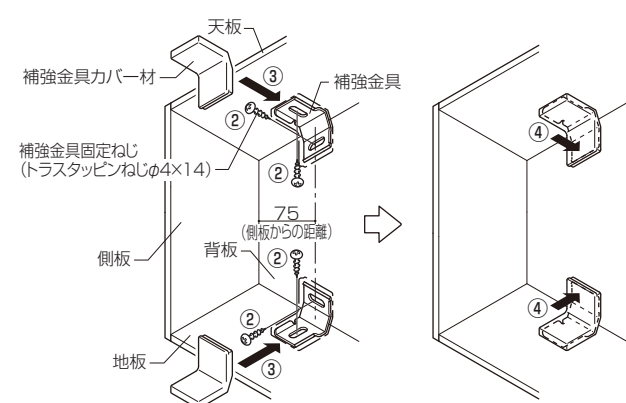
#### 2 補強金具の取付け

①天板、地板、背板に下穴(φ2.5×深さ10)をあけてください。  
②補強金具を補強金具固定ねじ(トラスタッピンねじφ4×14)で固定します。  
③補強金具と平行に補強金具カバー材をスライドさせます。  
④補強金具カバー材の先端を押し込みます。

※補強金具数：上下部4カ所(全キャビネット共通)



#### ■A部詳細図

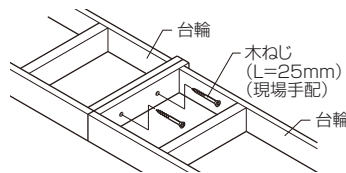


### 3 台輪の設置(台輪納まりの場合)

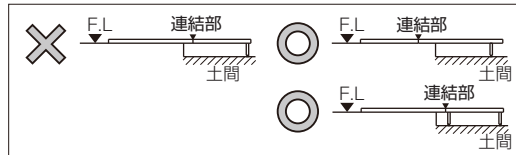
※照明付台輪の場合は、照明付台輪同梱の取付け説明書を参照してください。

### 3 台輪の設置(台輪納まりの場合)

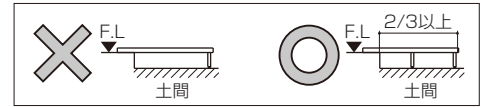
●据付け場所に台輪を置きます。  
※台輪を2台以上並べる場合は、木ねじ(L=25mm)で連結してください。



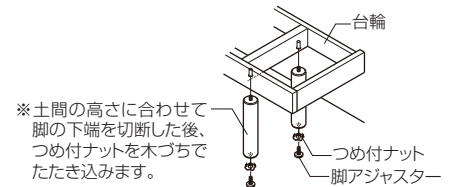
※連結部は、床にかかるようにしてください。やむを得ずかからない場合は、脚を4本使用し、市販のポルト・ナットでガタツキがないよう、台輪を連結してください。



※台輪を土間に直置きする場合は、水切りのため、アジャスターで10mm以上浮かせてください。  
※1200以上の台輪を使用し、土間に2/3以上かかる場合は、追加脚セット(別売品)を使用し、脚を4本設置してください。



※台輪の脚の切断可能範囲は、最大100mmです。  
(H350: 350~250mm H250: 250~150mm)  
※アジャスターの調整範囲は10mm~20mmです。



### 4 壁面への固定

#### 警告

●取付けねじは必ず棧木又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。

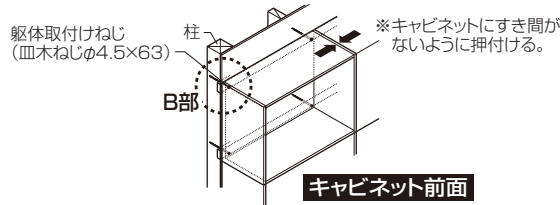
#### 注意

●施工時は必ず2人作業で設置をしてください。落下によりケガをするおそれがあります。

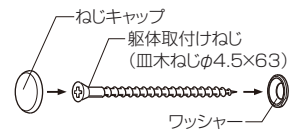
### 4 壁面への固定

※水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら固定してください。

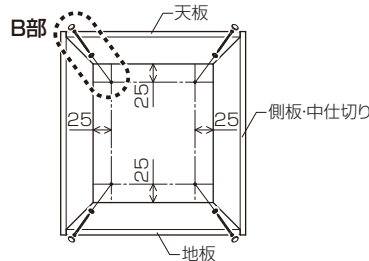
- ①キャビネットとキャビネットにすき間がないように押付けます。
- ②キャビネット前面・側面を揃え、ワッシャーに躯体取付けねじ(皿木ねじφ4.5×63)を通して4カ所固定します。最後にねじキャップを取付けます。



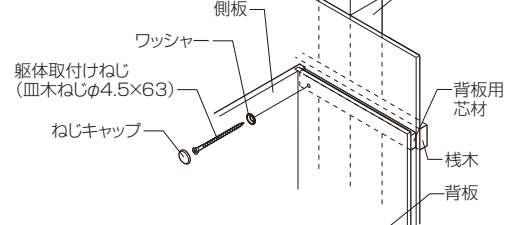
#### 躯体取付けねじ



※壁面固定位置(全キャビ共通)



#### B部詳細図

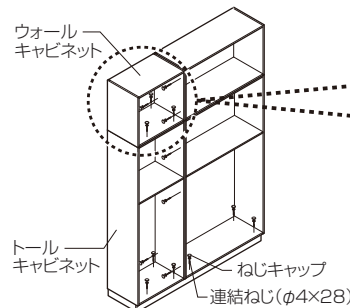


### 5 各キャビネットの連結

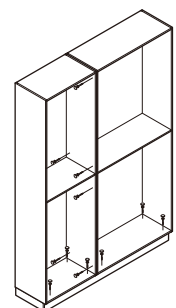
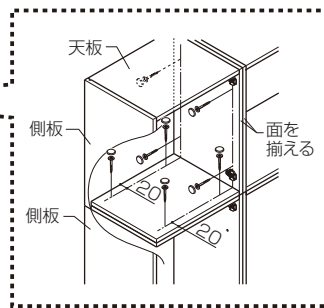
### 5 各キャビネットの連結

●キャビネットの側板前面を揃え、連結ねじ(φ4×28)で連結します。

#### [H17ツールを使用する場合]

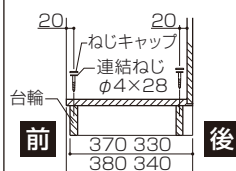


#### [H22ツールを使用する場合]



#### 台輪の連結(台輪納まりの場合)

●連結ねじ(φ4×28)で連結します。

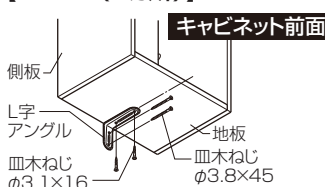


#### L字アングルの取付け(フロート納まりの場合)

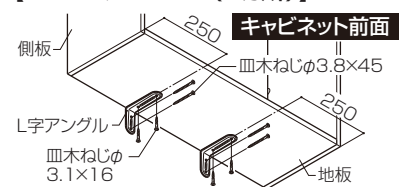
※取付け対象:ベースツールキャビネット

キャビネットの地板に、L字アングルを皿木ねじ(φ3.1×16)と皿木ねじ(φ3.8×45)で取付けます。

#### [W400(1カ所)]



#### [W740/W800(2カ所)]





## 6 カウンターの取付け (ベースキャビネットの場合)

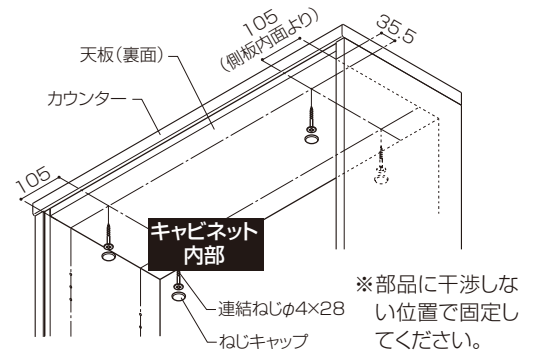
## 6 カウンターの取付け (ベースキャビネットの場合)

- ①天板をカウンターにのせ、下穴(φ2.5×天板貫通、カウンター深さ10)をあけてください。
- ②カウンターを天板の裏側(キャビネット内部)から連結ねじ(φ4×28)で固定します。

### 【定尺材カウンターを使用される場合】

- ※カウンターをキャビネットの寸法に合わせ切断してください。
- ※木口面は、同梱の木口テープをカウンターの木口形状に合わせて切断し、ポリネオチューブ(有償部品)で接着して仕上げます。

●お願い●  
必ず左右連結後のキャビネットを採寸して、両端を切断してください。



## ■オプション部品の取付け

### 【天井幕板・開口調整材】

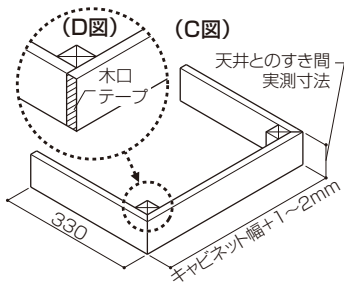
- ※扉より先に取付けてください。
- ※どちらも、現場加工用化粧材を使用します。
- ※天井幕板と開口調整材を併用する場合は、両者を面一に合わせてください。

### ●現場加工用化粧板

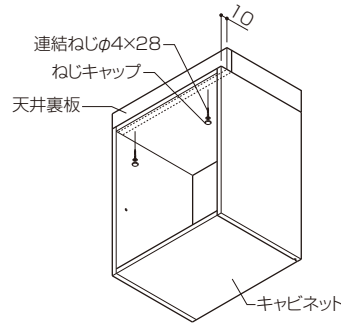


### ■天井幕板

- ①実測寸法に基づいて化粧板を加工し、③キャビネットの内側からねじ止め組立てます。(C図またはD図)
- ②台輪と面一に合わせて取付けます。

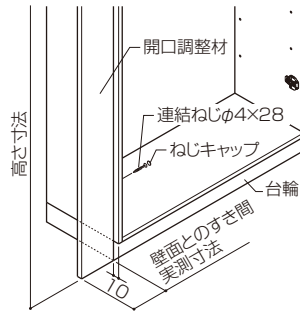


- ③キャビネットの内側からねじ止めします。



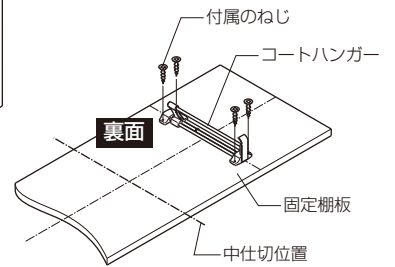
### ■開口調整材

- ①実測寸法に基づいて化粧板を加工します。



### ■コートハンガー

- ①開口の広い側の固定棚板の裏面中央に、付属のねじで取付けます。



■把手無用部品、扉裏収納、耐震ロック、ダンパーについては、各部品同梱の取付け説明書を参照してください。

## ■扉の取付け順序

●お願い●  
※部品取付けのねじは、必ず手回しドライバーで固定してください。強いトルクで締付けるとねじが空回りしたり、扉へこみの原因となります。

※天井幕板・開口調整材を取付ける場合は、先に「オプション部品の取付け」を確認してください。

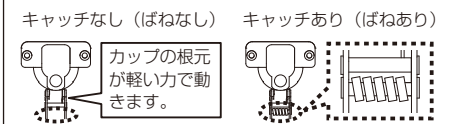
## ■丁番カップの取付け

### 1 丁番カップの取付け

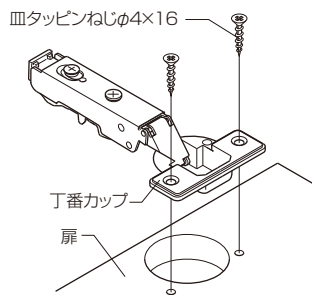
- ①丁番カップの種類(キャッチあり or キャッチなし)を確認してください。  
※キャビネットに同梱している部品セット箱には下表の組み合わせ・数量で丁番カップが入っています。  
キャッチなし丁番カップを使用するのは、H22ツールW740、W800サイズのみです。

		ウォール		ベース		H17ツール		H22ツール (中仕切無)		H22ツール (中仕切有)	
		400	740 800	400	740 800	400	740 800	400	740 800	800	
丁番カップ	キャッチあり	2	4	2	4	3	6	4	6	6	
	キャッチなし	-	-	-	-	-	-	-	2	2	

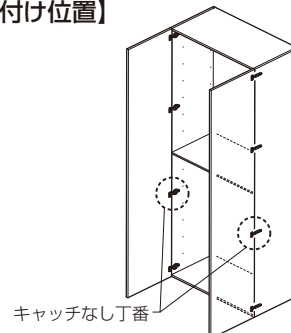
### 【見分け方】



- ②丁番カップを同梱のねじで扉に取付けます。  
H22ツールW740、W800サイズの場合は、下図の【取付け位置】にしたがい丁番カップの種類を使い分けます。



### 【取付け位置】



※扉1枚に対し、キャッチなし丁番カップを必ず1個使用してください。

